

行事報告

Report of events

令和5年度テクノフェスタ

テクノフェスタ実行委員会 小西 達裕、遠山 紗矢香、岡久 太郎、梶原 千里

2023年11月11日(土)、12日(日)に第26回テクノフェスタが開催されました。両日ともに天候に恵まれたこともあり、事前登録制だった昨年度の来場者数を大幅に上回り、2日間で延べ9000名の方に来場いただきました。同日に保護者懇談会や卒業生の集いであるホームカミングデー、学生が主体となる静岡大祭が開催されたこともあり、大変活気あふれる2日間となりました。

テクノフェスタは、最先端の研究内容やその成果を展示し、来場者の方々にそれらに触れあっていただくための催しです。情報学部では、「新しい学びの世界を創る最先端XRテクノロジーを体験!」、「3Dスキャンアドベンチャー」、「コンピュータによるモデリングで迫る心の謎」、「あれが!?好きな風景に身近な物を入れて動かそう!」などの研究室公開展示やおもしろ実験が実施されました。当日は、体験コーナーで楽しそうにしている

お子さんや、研究内容の展示パネルをじっくりご覧になっている高校生の皆さんの姿などが見られ、来場者の方々に様々な形で情報学部の研究や教育の内容に触れていただくことができました。2日間を通して、情報学部の魅力を大いに発信することができたと考えています。

しかしながら、来場者数はまだコロナ禍以前の水準には戻っておりません。来年度以降も魅力あふれる企画を実施してまいりますので、皆さまのご来場を心よりお待ちしております。



木谷研究室の展示をご覧になっている様子

情報学部ホームカミングデー 2023

2023 同窓会ワーキンググループ 増澤 智昭、大本 義正、望月 美希

2023年11月12日(日)に情報学部同窓会主催の情報学部ホームカミングデーを開催しました。昨年度はテクノフェスタの入場制限もあり多くの方に参加していただくのが難しい状況でしたが、今年度は社会人、在校生各20名を含む50名以上の方にご参加いただき大盛況となりました。

浜松キャンパスには、工学部・情報学部の卒業生組織である浜松工業会があり、卒業生を繋ぐ様々な活動をしています。在学中はその活動についてあまり知る機会がなく、在校生と卒業生とのつながりが希薄になりがちでした。そこで今年度は、学生と卒業生の交流機会を提供することを目標として、学生・卒業生・教職員が気軽に参加できるカフェ形式でホームカミングデーを開催しました。

当日は浜松工業会浜松支部の藤原孝洋様、朝倉嘉二様を来賓としてお迎えし、浜松工業会の歴史や活動についてご紹介いただきました。また、笹原恵学部長から100周年を迎えた静岡大学浜松キャンパスの歴史と情報学部の歩みを紹介しました。特別

企画では、卒業生の良知駿一様(静岡県議会議員)、宮田岳様(NPO法人ITOE理事長、オフィスミヤタ代表)を講師にお迎えしてキャリア講演会を開催しました。会社員を経て全く違ったキャリアを歩むお二人の講演は、学生がより広い視点で将来について考える機会になったのではないかと思います。今後も、学生と卒業生のつながりを強められるような企画ができればと思います。

最後になりましたが、ご参加いただいた皆さま、会の運営に大いに協力いただきました学生団体PMBOK Clubの皆さま、珈琲研究会の皆さまに、厚く御礼申し上げます。



情報学ワークショップWiNF2023

WiNF2023 実行委員長 福田 直樹

情報学ワークショップ(WiNF)は、2003年に第1回が静岡大学情報学部で開催されて以降20年以上の歴史を持ち、現在は東海地区の10を越える大学で共同して運営している学術発表会です。今年度の情報学ワークショップ WiNF2023 は静岡大学情報学部の主催として、12月9日(土)と10日(日)の2日間にわたって、静岡大学浜松キャンパス共通講義棟で開催されました。一般と学生あわせて200名以上の参加があり、学生を中心とした120件以上の発表が行われ、40件を越える発表が静岡大学の学生たちからありました。

WiNF2023では、情報学研究推進室との緊密な連携により企画セッション2件が開催され、ヤマハ株式会社の鈴木克典氏か

らの特別招待講演が12月9日(土)に、森田純哉教授らによる文工融合研究の実現へのチームとしての取り組みに関するパネル討論が12月10日(日)に、それぞれ行われました。また、基調講演・特別講演として、水野忠則名誉教授からWiNFのこれまでの歴史が、峰野博史教授からはマルチモーダルIoT/AIに関する先端の研究内容が、それぞれ講演されました。次年度のWiNF2024は、南山大学での開催を予定しています。



新任教員の抱負

実務実践を促進するための実践的方法の開発

行動情報学科 後藤 謙太郎



2023年10月に静岡大学の助教に着任いたしました。後藤謙太郎です。私の専門は、主に組織学習論、組織変革論、知識経営論です。研究内容として、製品開発の現場において、実務者の実践から生成され、実務現場に埋め込まれた知識である実践知に関して、現場調査を行うことで掘り起こし、新たな製品のアイデア・機器開発・事業開発に繋がる実践的方法、理論の開発（図を参照）を行っています。

2023年の9月まで、私は浜松にある光関連の電子部品・機器

メーカーに10年程度、勤めました。前職では、研究開発から実務を

促進するための取り組みなどさまざまなことを経験させていただきました。これまでの実務経験を活かし、遠州地域を活性化させるために地域DXの課題にも取り組んでいきたいと思っております。

これからさまざまなことに挑戦し、学術・実務の両方に貢献していきたいと思っております。今後とも何卒、よろしくお願いいたします。

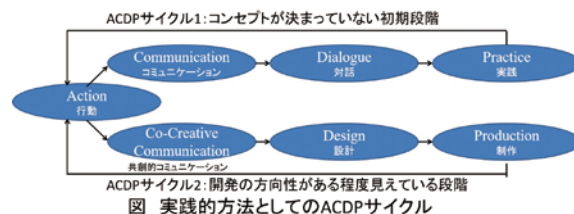


図 実践的方法としてのACDPサイクル

障がいや年齢によらないアクセシブルな情報社会の実現に向けて

行動情報学科 西村 崇宏



2023年10月に着任いたしました西村崇宏と申します。人とインタフェースデザインの関係を人間工学や感性工学の領域から研究しています。情報通信技術の発展と普及によって、障がいのある方や高齢者、子どもを含めた様々な人々が情報にアクセスし、活用する時代になりました。ICTの活用はあらゆる活動の可能性を広げてくれますが、これらの恩恵

を得られる人と、何らかの要因で得られない人との間に生じる情報格差など、新たな問題も生じてきています。障がいや年齢によらないアクセシブルな情報社会の実現に向けて、情報学部の方々と学生さんと一緒に考え、研究や教育に取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



退職教員による情報学部の思い出

情報学部での日々を振り返って

情報社会学科 堀内 裕晃



創設以来関わってきました情報学部をこのたび退職することとなりました。これまでお世話になりましたことに心より感謝申し上げます。

研究の専門は言語学・英語学ですが、ゼミでは主にコミュニケーションについて学生と調べてきました。学生が考えることを大切に進めていくと、興味

深い発見が生まれ、私自身も楽しむことができました。また、人とロボットとのコミュニケーションを調べることで人間言語の特徴の一端を知ることができたことは、文系出身の私にとって望外の喜びでした。学生・先生方には大変感謝しています。

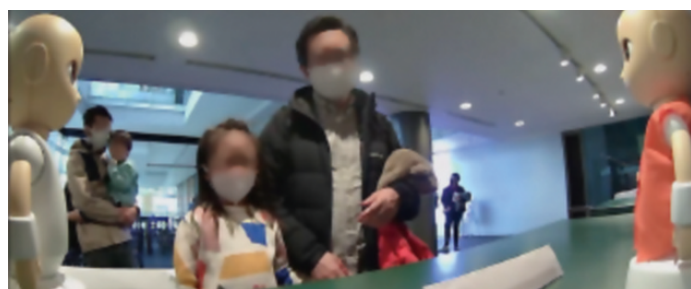
振り返ると、情報学部で学んだことは大きな財産になっていると感じます。これからのますますの発展を願っています。

研究紹介

フィールドに出た認知研究

情報科学科 竹内 勇剛

認知的コミュニケーション研究室（竹内研究室）では、人と対話エージェント／知能ロボットなどAIを組み込んだ知的人工物とのインタラクションを通じた相互認知過程の解明に取り組んでいます。人同士でも相手の心の中の状態は直接知ることはできませんが、しかし実際は互いに暗黙的に「わかった」ものとして関係を構築したり発展させたりしています。実際にそれはどのように実現しているのかを認知科学の観点からモデル論的に考究し知的人工物への実装することで、人らしさの解明を目指しています。



日本科学未来館でのフィールド実験の様子
(来場者のプライバシーに配慮し画像の解像度を落としばかしています)

大学での出会い

情報科学科 榎本 優香



大学生活では周囲に支えられていることを実感しました。コロナ禍という特殊な状況で一人暮らしを始め不安になるときや、授業で手一杯になったとき、就活などしんどい時期を乗り越えて楽しく大学生活を送れたのは様々な人が支えてくれたおかげです。特にサークルの友人にはたくさん助けてもらいました。大学一年

生の頃に浜松で友達が欲しいと思いなんとなく所属したサークルでしたが、今ではこのサークルでの友人がいなかったら自分は大学生活を乗り越えることができなかったかもしれないと思うほどに大切なものになりました。

高校までとは違い自分から行動することを求められる大学生活。自分を見直すきっかけとなり、かけがえのない友人と経験を得ることができたと思います。

やりたいと思ったことをやる

行動情報学科 中野 世那



大学生活を振り返ると、私の目標は「やりたいと思ったことをやる」というシンプルなものでした。この目標のおかげで、私は多くの貴重な経験をすることができました。東北地方への一人旅、スキューバダイビング、様々なライブへの参加や海外旅行など、それぞれが忘れたい思い出となっています。

これらの経験を通じて「挑戦することが自分の視野や可能性を広げる」という大切な教訓を学びました。やりたいと思ったことに挑戦する勇気を持つことで、新しい自分を発見し、未知の世界に足を踏み入れることができたと感じます。この充実した大学生活を経て、私は自分自身

の成長を実感しています。そして、社会人になってからも挑戦し続けます。



大学祭実行委員会で得た財産

情報社会学科 水野 萌子



私が浜松静大祭実行委員会に参加した理由は「社会に出る前に組織で活動する経験を積みたい」でした。幹部として参加した22期は、大学祭「静大祭in浜松」の延期を行った唯一の期でした。延期を決定するまでに委員会で何度も議論を行い、大学などと延期に関する話し合いも行いました。上記の話し合いの中

で、組織で活動する難しさや、組織間における情報のすり合わせの重要性を痛感しました。また、個人の業務として企業協賛も担当しました。企業の方々とやり取りをする中で、組織の代表として動く責任の重さを学びました。コロナ禍の影響で最終的には大学祭を開催することは叶いませんでしたが、「組織で活動するとはどういうことか」の一端に触れることができました。

新しいことへの挑戦

総合科学技術研究科情報学専攻 池ヶ谷 舞



学生生活は、新しい挑戦に溢れた6年間でした。

私は、身体活動の活発化に向けた介入方法を研究しています。個人が最も必要とし、行動に移しやすいタイミングで介入を行うことが目標です。研究をデザインするところから始まり、統計学の勉強、そして慣れないソフトウェアで解析を行うことに苦戦しましたが、モデルが改善

されると心が躍りました。学外発表も経験し、新しい視点からのフィードバックがとても刺激的でした。学業以外では、部活動でマネージャーを務めるほか、後輩への就職活動支援、社会人に対して講義を行うリカレント教育への参加など、学生の今

だからできることに挑戦しました。新しいことに挑戦することで、新たな知識が得られ、沢山の出会い、大きく成長できたと思います。



情報学部キャリア支援室 椿 志保里

2023年度も情報学部と総合科学技術研究科情報学専攻では共に高い内定率を維持しています。2024年2月9日現在、表のように学部では3学科平均で99.3%、情報

学専攻では100.0%の内定率となっています。引き続き、全員が希望の進路に進めるように支援しています。

学科・研究科	卒業予定者数	就職希望者数	内定者数	大学院進学者数	内定率	進学率	
情報学部	情報科学科	99	49	49	47	100.0%	47.5%
	情報社会学科	75	63	62	4	98.4%	5.3%
	行動情報学科	71	36	36	30	100.0%	42.3%
	計	245	148	147	81	99.3%	33.1%
総合科学技術研究科情報学専攻	72	65	65	4	100.0%	5.6%	

2021～2023年度学部・研究科卒業生の主な就職先

情報科学科	情報社会学科	行動情報学科	総合科学技術研究科情報学専攻
アビームシステムズ	アビームシステムズ	NECソリューションイノベータ	アマゾンウェブサービスジャパン
伊藤忠テクノソリューションズ	NTT データ・アイ	Sky	NTTドコモ
NECソリューションイノベータ	応研	デンソーテクノ	KDDI
キャノンITソリューションズ	東邦ガス情報システム	電通国際情報サービス	サイバーエージェント
ソフトバンク	トヨタシステムズ	トヨタシステムズ	ユニオンアクティブエンタテインメント
TIS	ピクセルソリューションズ	日本ヒューレット・パッカード	ヤフー
トヨタシステムズ	三菱電機ソフトウェア	日立システムズ	LINE
ビズリーチ	ヤマハモーターソリューション	丸紅ITソリューションズ	楽天グループ
富士ソフト	スズキ	セイコーエプソン	リクルート
freee	ニプロ	日本電気	京セラ
ヤフー	コナミアミューズメント	浜松ホトニクス	デンソー
NECプラットフォームズ	TOKAIホールディングス	マキタ	東芝キャリア
三栄ハイテックス	野村総合研究所	村田製作所	TOPPAN
SUBARU	富士山静岡空港	鈴木	日立製作所
日本電気	北日本放送	中部電力	パナソニック
三菱電機	フジリエイティブコーポレーション	ヤマハコーポレートサービス	富士通
ローランドディー・ジー	東京海上日動火災保険	マイナビ	ヤマハ
メイテック	静岡銀行	静岡銀行	ヤマハ発動機
中日新聞社	静岡県警察	日本生命保険	朝日新聞社
山梨県庁	静岡県庁	浜松いわた信用金庫	共同通信社
静岡市役所	豊橋市役所	浜松市役所	アスクル
山善	内田洋行	松阪市役所	ファーストリテイリング

ソフトウェア・通信、メーカー、サービス・インフラ、マスコミ、金融、官公庁など幅広い分野に就職しています。それぞれの学科のカリキュラムで育んだ知識や経験を活かし、就職活動での強みとしています。

情報学部では、年2回の進路ガイダンス等に加え、学生に対してきめ細やかな面接指導等を行っています。コロナ禍を経て、オンラインで採用活動を行う企業が多い状況が続いております。学生が活動を行う際に活用しやすいように、なるべくオンラインで情報を閲覧できるようにしております。また、採用関連の企業情報や、卒業生の就職活動体験情報を、就職資料室(i-job)で提供しています。



就職資料室(i-job)の様子

学生の表彰

学長表彰

成績優秀者

川口 小次郎

業績優秀者

仲田 明良

鈴木 稜太郎

佐藤 佑哉・前田 壮志
荒川 貴彦・岡野 真空
[UEFC2023静岡大学チーム]

学部長表彰

成績優秀者

坂根 亜美

専攻長表彰

成績優秀者

藤田 真伎

学位記受領代表

情報学部 水野 萌子
情報学専攻 池ヶ谷 舞

成績優秀者

(半期分授業料免除対象者)

有賀 千夏

(3年生対象前期分)

平田 夏凜

(4年生対象後期分)

藤田 真伎・池ヶ谷 舞

(修士2年生対象後期分)

2024年度 行事予定表 (2月末時点)

2024年

4月4日 入学式(静岡グランシップ)
4月5日 ガイダンス(~4月11日)
※奨学金説明会まで含んだ日程
4月11日 前期授業開始
5月24日 全学一斉地震防災訓練
7月25日 前期試験期間(~7月31日)
TOEIC試験
8月2日 夏季オープンキャンパス
9月16日 集中講義(~9月30日)
10月1日 後期授業開始
11月9日 静大祭・テクノフェスタ(浜松)(~10日)

11月9日 保護者懇談会・個別面談(予定)
12月24日 集中講義(~12月27日)
12月28日 冬季休業(~1月3日)
※1/4,5は土日。

2025年

1月6日 授業再開
1月28日 後期試験期間(~2月3日)
3月18日 学位記授与式(浜松)

お問い合わせ

〒432-8011 浜松市中央区城北3-5-1 静岡大学情報学部事務局
TEL:053-478-1510・1511 FAX:053-471-0249
学務窓口 pr-gakumu@inf.shizuoka.ac.jp

Joy風 vol.32 April2024

情報学部のウェブページをご覧ください。

情報学部では、保護者・受験生・社会人・一般・企業の皆様向けに学部のウェブページを公開しています。最新情報が掲載されていますので、どうぞご覧ください。

<https://www.inf.shizuoka.ac.jp>